



ご挨拶

仙台第三高等学校同窓会 会長

堀田 康哉

同窓会報

第30号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局

印刷 創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区大手町六番二号

(敬称略)

これ要するに勉学のこと。
生徒諸君が学校指導の「ス
ローガン」文武一道(三船久
藏 柔道師範 中3回)を枕
詞に、概ねその充実した内容
の運営により、しかも最も早
い時期に全国会員にもという
ことでござります。従いまし
て、只今名簿委員会が全力投
入でその対応にあたっております。
これからも

◆文

これ要するに部活のこと。
各部各自それなりに納得のい
く素晴らしい成績を挙げるも
のと期待している。
野球部・対一高硬式野球定
期戦二勝平成九年五月九日
(金):(12:0) 平成九年五
月十日(土):(4:3) 於一
宮城球場

これ要するに部活のこと。
各部各自それなりに納得のい
く素晴らしい成績を挙げるも
のと期待している。
野球部・対一高硬式野球定
期戦二勝平成九年五月九日
(金):(12:0) 平成九年五
月十日(土):(4:3) 於一
宮城球場

それぞれ上記のスコアで二
連勝、五月晴れに恵まれ極め
て快適至極。

水泳部・懸案の "Internation standard" 50m-Pool
(7 course)。県のご指導に
より見事平成九年四月下旬完
成是非ご一見のほどを。

秋冷の候、会員の皆様には、
お変わりなく御健勝にお過し
のこととお喜び申し上げます。
さて、今般同窓会会報発行
のご挨拶を初夏の到来と時を
同じうしていつもより早く申
し述べることに相成りました。
小生も聊か面喰らっている
ところです。当会報も漸く戦
後色を脱し、担当各位のこれ
また素晴らしいideaにより、
面目一新、第二十八号、第二
十九号とやっとcolourの明
るい素晴らしい会報をお手元
にお届けできるようになります。
した。大変喜ばしい限りでは
ありますが、最近当同窓会も
日々創立特に百周年を迎え、
年々その守備範囲、活動範囲
共に膨張拡大強化され、学校
当局並びに生徒、PTA、奨

学会間相互の情報量の滞納懲
積が稍目立つ様相を呈して参
りました。従いまして意を決
しまして、本年度より年一回
の会報を "biannually" に百
周年記念を迎えて、特別仕立
ての(総会案内号)に切り替
えることに致しました。これ
で今まで以上の情報を会員各
位のお手元に届けるようにな
ればと期待しております。

「数は力なり」

の信仰に従して参る所存です。

泉山頂からの「郭公」の嘴
り、青葉山から聞こえてくる
「杜鵑」の声より一足先に同
窓会会員各位のご健勝をお伺
いし乍ら。

「勿論 懐具合もこれ い」とさいますので」

「母校概観」レポート①
◆職員人事ごと

同窓会副会長:星 卓次

何故おかしいものに対しても
自信をもつ、忠告や正論を吐
露しないのでしょうか。ある

いは怒り、且つ叱らないので
しょうか。これが本当の愛情
だと思うのですが。

◆銀木犀一報告

これ要するに勉学のこと。
生徒諸君が学校指導の「ス
ローガン」文武一道(三船久
藏 柔道師範 中3回)を枕
詞に、概ねその充実した内容
の運営により、しかも最も早
い時期に全国会員にもという
ことでござります。従いまし
て、只今名簿委員会が全力投
入でその対応にあたっており
ます。これからも

などとザレ言を唱えながら申
し述べる機会を頂戴しております。

年輪の積み重ねは経験があ
り、見識が備わっていて正し
い判断と処置が出来る高い可

能性をもっているということ
なのです。

近々創立特に百周年を迎え、
年々その守備範囲、活動範囲
共に膨張拡大強化され、学校
当局並びに生徒、PTA、奨

職員異動欄参照
須藤 亨先生(高24回)生物
藤木雅之先生(高27回)数学
特注(同窓会事業に専念の
余り、本来の教育指導に悪影
響などシワ寄せ現象なきよう
お願いする)。

これ要するに部活のこと。
各部各自それなりに納得のい
く素晴らしい成績を挙げるも
のと期待している。

それぞれ上記のスコアで二
連勝、五月晴れに恵まれ極め
て快適至極。

水泳部・懸案の "Internation standard" 50m-Pool
(7 course)。県のご指導に
より見事平成九年四月下旬完
成是非ご一見のほどを。

引き続き一同バスにて懇親会が会場秋保温泉ホテルクレセントに向う。皆さん頗る元気溌々と向うへ。刺、旧交を暖め乍ら、やがて会の流れも次第に進行、同期である丹野諒二副知事(中47回)、前県議会議長斎藤栄夫両君への叱咤激励会に移行したようです。

平成九年五月九日(土)河北夕刊「勇者のひとこと」掲載
樋 有恒氏(中11回)のこと。
樂山人登攀三昧の記事が
『THEミヤギ1997・No.1
『特集日本近代登山の父』
是非』一読の程を。
堀見宗男先生(旧職員最年長者)
者)表敬訪問。

ことが出来ました。高橋清治先生（地学部天文班責任者。元同窓会担当）の指導で暗渠の母校屋上天文台より、地学部学生十四～十五名の親切な指導で右仰角 $\angle 30^{\circ}$ 北西の空遥か泉ヶ岳山頂辺近くに問題の快進撃するComeを見事にCatchすることが出来ました。

はある程度期日の制限があらりますものの、一方ground 狹小の件は当局のご理解を頂くことになるので、話し合いも当然長丁場となることでしょう。これも止むを得ないことと承知致しておりますところでもあります。

「以上の文は、同窓会報、平成9年度総会案内号から転載しました。」



さて、ここで一言、浅野知事も日本一の福祉県創設実現の夢も果たすことなくいつ申し上ぐるどうやら火事場の後片付け、或いは日本海重油汚染海水処理といったような仕事に専ら終始し、なかなか本来の専門職である厚生庁行政に復帰専心出来ないのはこれ誠に不本意な話。一日も速やかな知事就任時の原点に立ち戻り、思う存分の活躍出来ることを心から期待している。

三船久藏氏（中3回）の「」と
本校学生指導

珍しく、小生平成九年四月一日（火）話題のComet見学校を思い立ち六時三十分午後母校を訪問、今世紀最大級のヘルボップ彗星を見学する

G.W直前の四月下旬本校職員関係OB最長老、皆様既にお馴染みの英語塾塾頭堀見宗男先生を中山の自宅に訪問致しましたところ大変お元気で皆様にくれぐれもよろしくとの伝言を頂戴致しました。後三年後に控えた本校百周年記念式典を大変楽しみにしておられました。そして玄関で笑顔で「俺も一度百歳になるからナ」と一言大きな声で語られました。

達しました。副会長松永行康（高5回）が当分その責任者となり、学校側と一緒に準備体制を整備強化してまいります。当然百周年事業の所存です。

◆アアー「狭小」
母校グランド狭小の件はこれまでご挨拶の中で申し述べてまいりましたものの、この問題に関しては、校長は意見書を既に県に提出済みであり、また今回百周年記念式典を迎うるにあたりその事業目標である環境整備の中できこれをなんとか処理したいとの要望もあり、当同窓会は学校側（職員、PTA、奨学会）

お願い致します
老(衰)化した白雲崖の桜
(そめいよしの)(さくら)

「母校概観」レ
今ここに對百
ね完了。いよい
よ当九年度より
まちがいなく実
行作業に移行す
る所存。来る平
成九年七月五日
(土) の同窓会に
総会を日程に役
員一同張り切つ
ております。重



ご挨拶

宮城県仙台第二高等学校 校長 木口 倉之助

会員の皆様にはご健在のこととお慶び申し上げます。日頃より本校へのご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。心から御礼を申し上げます。

平成九年度の本校は、九十九名の生徒諸君と新任の十四名を加えた教職員七十四名になりました。順調にスタートをいたしました。新教育課程実施二年目に入り、大学入試との関連等予想しにくい部分もありますが、一応の定着をみているところです。本校における新しい取り組みのひとつである六十五分授業も二年間実施した結果、生徒諸君への浸透、定着状況、また進路面への影響等を見ますと好結果をえているものと思つております。これはまた、東北地区の伝統ある進学校としての

ことに直結してくれるものと思っております。また、本校入学に推薦入学制を導入、本年度は第二回生として三十二名の諸君を迎えております。九十九名の生徒諸君には、学校生活の様々な場面でそれぞれのユニークな個性を發揮し、夢と希望の実現に向け切磋琢磨し、将来有為な人材にとおおいに期待しています。

さて、年度当初の四月、五月には伝統行事があります。本年も空澄み渡る絶好の快晴に恵まれた四月二十六日(土)、剛毅果斷北陵健児をテーマに大運動会を開催しました。Mr.木口倉之助、七転八倒、綱取りなどユニークな種目をはじめ、多くの父兄の方々、お子さん達の参加をえた種目等もあって

操マスゲームでは、帆掛け船、ピラミッドなど全校生徒諸君の躍動感溢れる伸々とした演技が好評を博しました。特に、入学間もない新一年生諸君の演技には、大きな拍手があつたように思います。

続く五月には伝統行事、二高対一高定期戦が行われました。対戦成績は、軟式野球8対20、バスケットボール78対64、バレーボール0対2、柔道 大将戦一人残し勝ち、硬式野球 第一戦12対0、第二戦4対3の結果でした。とにかく三部(バスケ、バレーボール、柔道)定期戦は大方の予想を覆して勝ち越し、柔道における大将戦を制しての勝利ではあります。

さて、西暦二〇〇〇年には諸君、OBの方々、父兄の方々が夕闇迫る一番町、広瀬通りを行進し、北陵の地に凱旋しました。一年ぶりのファイアストームと凱歌「五城楼春の月」に酔いしれたところあります。杜の都の風物詩といわれている二高・一高応援団の白熱したP.R.行進、応援合戦は今年も素晴らしい準備がすすめられておりました。

野球は、本校の鈴木啓太主将の宣誓「我々選手一同は、この宮城野原において、杜の都の早慶戦と呼ばれる定期戦を行います。今年で五十二回を数える長い歴史に、今まで新しいドラマを刻もうとしています。全校生徒の声援をうけます。全校生徒の声援をうけて、元気・全力疾走・ファイト溢れるプレーを心掛け、好ゲームを展開することを誓います。」で開始され、第一戦はノーヒットノーラン完封、

第二戦は接戦をものにし二連勝と圧倒、昨年の雪辱を一氣に晴らし、通算成績59勝50敗2引分としました。五月十日(土)、四〇〇名を越える生徒は一人の糧となつて今後に結実します。これらは一人一人の糧となつて今後に結実してくれるものと確信しております。

さて、西暦二〇〇〇年には本校創立百周年にあたります。ご承知のように、本校は、一九〇〇年に宮城県第二中学校として発足し、今日に至っております。この間二万三千余名の有為な人材を輩出し、各界において活躍をいたしております。現在、記念事業実施等に向け四者(同窓会、奨学会、父母教師会、学校)

ります。

また、今後の本県教育施策の中心たる「みやぎ新時代教育ビジョン」で示された主要な施策の一つである社会人の登用については、皆様からのご協力をえてすでに実施しているところであります。さらに、職業観を育成する取り組みとして、保護者の方々が自分の職業について書いた生徒への指針、メッセージである冊子「六分儀」を作成し、それを活用しながら進路指導の効果を上げております。

こうした面での活動をもすすめながら、文武一道の下、次世紀への節目である百周年を迎えるものと思っております。生徒諸君は先輩諸氏の功績を継承し、更なる前進に向け、青春を謳歌しながら、自らの将来の夢・希望の実現に向け、努力してまいりますので、今後とも同窓会皆様方からのご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

①百周年記念館建設
記念館建設の顧問として専門家でO.B.でもある斎藤勲氏（東京設計事務所）、桂久男氏（東

百周年記念事業について

教頭 岩本旬二

第6回準備委員会は8月25日行われた。主な協議題は重点事業の「南校地整備計画」と「百周年記念事業実行委員会設立総会」についてであつた。総会日時は平成9年11月7日午後6時～7時。場所は仙台二高講堂を使用。総会次第等の持ち方については次回に審議することになったが、基本線として簡素に実施することを申し合わせた。

②プール完成

平成9年3月31日、50Mプールが竣工した。青く広々と美しいプールは一見に値し、利用価値も高く、県内外からの利用希望もある。

③軟庭、硬庭コートの配置替え

平成13年国体の練習コートとして指定されていることも必然と存在している建物や施設を配置替えし、北側の体育館に並べて、軟庭、硬庭のコートを四面並べて配置し、南側のプールに並べて軟庭コート跡に記念館を建てるのが最も相応しいという結論になつた。

百周年記念事業の中心計画でもあり、大きな資金が必要となります。しかし、同窓先輩諸兄のお力添えにより立派なモデルを完成させたいと願っております。

北大名誉教授の御二人に助言を御願いしている。

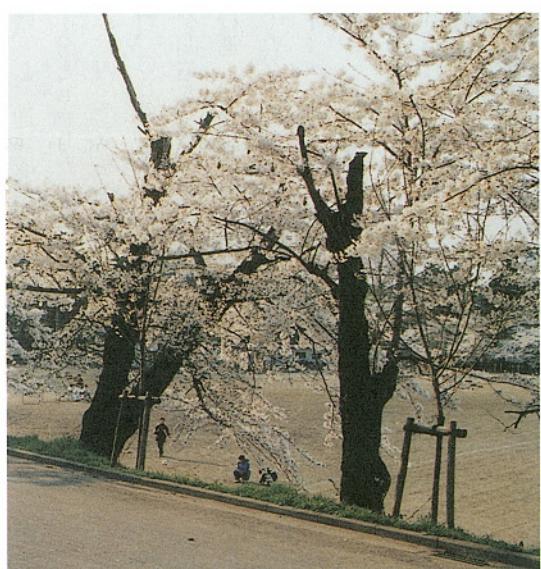
生徒達の志向、環境との調和、利用の在り方等種々の問題を考えながら、21世紀にむけて夢のある計画にしたいと、いう専門家御一人の意気込みであります。

南校地整備計画

現在の南校地は体育館の斜向いにプールがあり、南と北の角に軟庭と硬庭のコートが分離され、プールの奥に部室があります。つまり、やゝ雑然と存在している建物や施設を配置替えし、北側の体育館に並べて、軟庭、硬庭のコートを四面並べて配置し、南側



特別教室に設置されたエアコン



植え替えられた新旧の桜



総長に就任して

東北大学総長 高7回卒 阿部博之

昨年（一九九六年）十一月、西澤潤一先生の後任として、第十八代の東北大學総長を拝命しました。總長選挙は立候補制ではありません。四回の選出の過程の被選出者の立場は受身であり、したがって筆者にとりましては、教授職を離れることに、正直なところ迷いがありました。当然のことですが、それを振り切らなければなりませんでした。選出後になりますが、とくに旧帝大の総長には、専念義務が強く要請されていることを知りました。

いまわが国の大學生は、大きい転換期に入っています。

第二次世界大戦後のわが国を見ますと、焼け跡から立ち上がり、製造業を中心に、欧米とともに米国を手本にして、大きな努力をして大成功しまし

た。その反面、大学の研究に対する期待、未来に対する提言の期待は、あまり大きくありませんでした。これらの役割を、米国に大きく依存したのであります。また大学教育による付加価値の期待も、

かならずしも大きくあります

んでした。いわゆるキャッチアップ時代においては、画一的であること、個性的であることよりは協調的であること、独創的であることよりは手本に近付くこと、さらに上手に改良すること、が評価されました。したがってペーパーテストによる偏差値も、行き過ぎがなければ、それなりに意義があつたのです。

経済大国になつたいま、今

までのよう、欧米特に米国への甘えは通用しません。手

本の基になる萌芽的な研究、

た。その反面、大学の研究に対する期待、未来に対する提言の期待は、あまり大きくありませんでした。これらの役割を、米国に大きく依存したのであります。また大学教育による付加価値の期待も、

かならずしも大きくあります

んでした。いわゆるキャッチアップ時代においては、画一的であること、個性的であることよりは協調的であること、独創的であることよりは手本に近付くこと、さらに上手に改良すること、が評価されました。したがってペーパーテストによる偏差値も、行き過ぎがなければ、それなりに意義があつたのです。

大学入試の偏差値信仰も、これだけ過熱すると、弊害が目立つようになりました。大學入試のペーパーテストの特徴は、答がかならず存在し、基本的に一つであり、解き方がマニュアル化していること

あります。ところが、学術研究を含め、社会における仕事の大部分は、こうではあり

ません。ペーパーテストの学

力は、大切ではありますが、一つの物差しでしかないのです。

これからの大學生には、一

方では総合力を、一方ではア

ロフエッシュナルであること

が強く要請されます。とくに

後者については、他人と異な

ばなりません。少なくともわ

が国のいくつかの大学が、歐

米の研究大学並みの役割を担つ

ていかなければ、わが国の未

来はないといえましょう。わ

が国は、いわゆる高度成長期

を別にすれば、とくにその後

は近隣の国々から尊敬されな

くなっている現状を直視すべ

きであります。

欧米の大学は長年にわたり

外国人に勉学や研究の場を提

供してきました。わが国も、

中曾根内閣の留学生十万人計

画以来、受入れの整備に努力

してきましたが、欧米に比べ

ると、教育環境の整備

はまだまだです。国際関係

は、これからさらに複雑化

していきますが、留学経験

者を通じての国際理解は、何

ものにも替え難い威力であり、

米国などでは大きい財産となつ

ています。これに相当するわ

が国の蓄積は極めて貧困であ

り、このままでは、わが国は

以上のように、経済大国であります。ところが、学術研究を含め、社会における仕事の大半は、こうではあります。ペーパーテストの学

以上のように、経済大国で

ありながら、大学への投資に

熱心でなかった長年の累積が

今日を招いたのであり、説明

が十分でなかつた大学側にも

責任があります。

東北大学は創立九十年にな

りますが、研究大学をはじめ

て明確に標榜して発足した大

学であります。第二次大戦後

のキャッチアップ時代におい

ても、独創を重んじる学風を

受け継いできました。したがつ

て大学の再生の準備が最も整つ

ている数少ない大学というこ

とがであります。

また留学生に対しても、魯

迅以来の伝統があり、市民の

対応には、他県や他の都市に

比べて、自慢できる点が少な

くありません。

ボーダーレス時代には、知

的資産を創り、提供していく

ことが、わが国の生きる道で

あり、そのため、科学技術

学の整備に微力をつくしていきたいと考えております。同窓会詰兄のさらなるご叱正とご支援を是非共お願ひ申し上げます。



(付記) 筆者は、昭和二十七年(一九五二)年から三年間、仙台一高のお世話になりました。生意氣で、従順でない生徒であったことをときには思い出し、汗顏の至りです。多感な時代であり、本は随分読みました。映画の全盛時代であり、見た本数は二百を越えていたかと思います。先生に迷惑をかけた生徒ほど、後年愛校心が強い、という言葉は一理ありますが、筆者もその一人のよう思います。ともかくも掛け替えのない三年間でした。

国際化というのを主なテーマにしたイベントのキャンペーン・レディとして選ばれた女性達が知事室にご挨拶に来られた。そのときに、私からは、ちょっと意地悪な質問をしてみた。

国際化というのを主なテー

差し
上
け
た

国際化

しい成果をあげている。
国際競争を意識してこ

質問に対する答である。

「みなさん、宮城県の人口は何人か分かりますか。市町村の数はどうでしょう。宮城県の特産物は何かな」といったことである。残念ながら、お嬢さん方の中で正しく答えられる人はいなかつた。「キャンペーンで外国人の人や県外の人達に会うと、多分宮城県について聞かれますよ。今からでも遅くありません。まずは、この辺の知識を増やすことから始めましょう。そして、何よりも、あなたがた自身がこの宮城県を愛することが世界に宮城を売り込むためには必要なのです」ということを言ふ。おみやげとして宮城県についての各種パンフレットを

性達が知事室にご挨拶に来られた。そのときに、私からは、ちょっとと意地悪な質問をしてみた。

「みなさん、宮城県の人口は何人か分かりますか。市町村の数はどうでしょう。宮城県の特産物は何かな」といったことである。残念ながら、お嬢さん方の中で正しく答えられる人はいなかつた。「キャンペーンで外国人の人や県外の人達に会うと、多分宮城県について聞かれますよ。今からでも遅くありません。まずは、この辺の知識を増やすことから始めましょう。そして、何よりも、あなたがた自身がこの宮城県を愛することが世界に宮城を売り込むためには必要なのです」ということを言ふ。おみやげとして宮城県についての各種パンフレットを

ことなんじゃないかと思うのである。つまり、自分の住んでいるところに誇りを持つといふこと、その地が世界の中でもかけがえのないところと信じること。人のことは言えない。私自身、留学生としてのちには大使館勤めとして通算五年もアメリカ暮らしがあり、英語もそこそこ話すのだけれども、そのアメリカで日本文化について尋ねられて何も答えられなかつた過去がある。国際化失格なのである。それにしても、国際化といふことが我々の日常生活にまで関わってくるようになつた。国際競争と言い換えればますますそうである。いかなる産業も国際競争を意識しないでは成り立たない。自動車産業やエレクトロニクス、これら分野は早くから世界競争の舞台に飛び出していく、華々

た産業分野が今、悩んでいる
銀行、証券、生命保険など、
金融の分野である。日本独特
の護送船團方式は国内では通
用しても、世界の市場の中では
戦うための力を殺いでしまう
結果になった。

農林水産業、いわゆる一次
産業は世界競争と無縁とも思
えたが、現実はそうではない。
安い木材や水産物がどんどん
外国から入ってくる。「一粒
たりとも入れない」と宣言し
ていた米も外国から一定量入
れさせられることになった。
反対、抵抗することも必要で
はあるが、国際競争も計算に
入れての行動も求められる。
問題はそのスピードに各産業
がついていけるかということ
である。

国際競争ということで、と
ても印象的な話を昨年ドイツ
を訪れた時に耳にした。ザク

現に、日本の企業は権限と責任を組織の末端にどんどん降ろしていくことによって、組織の構成員のやる気と創意工夫を引き出し、組織全体の活動力を高め、あれだけの成功を国際市場で収めたではないか。アメリカやドイツはそのやり方を今必死になつて真似しようとしている。公行政の場面では、どうしてその分権をしようとしないのか。ひょっとしたら、公行政は国際競争を意識しないでいいとでも思つているのだろうか」と力強くおっしゃったのが、今でも私の心に刻みこまれている。

国際化の流れの中で

宮城県知事 高18回卒 浅野史郎



セン州の首相であるビーデン
コプフ氏の言である。日本が
国際的にここまで力をつけて

のところである。国際化というのは、なにも競争だけを意味するのではない。世界の中で品格を持ち、尊敬を受ける国になることを目指すということも国際化の流れの中で当然必要とされる。国としてということもあるが、国民としても同じである。外国人に出れば一人ひとりが外交官であり、外国人を迎えるても同じく一人ひとりが国を代表する外交官である。

その点で気になるのは、海外旅行に出る日本人の評判の悪さである。金にあかせて物を買いあさる、傍若無人の態度で大声を出す。発展途上国への買春ツアーなどはまさに國辱ものである。

一方、アジアから日本への留学生のかなりの割合が、留学して日本を嫌いになるとの統計がある。その留学に日本が財政援助をしているケースもある。お金をかけて恨みを買う、こんなナンセンスはない。

せめては、この宮城県ではそんなケースはないようにしたい。アジアから来た若き工

リートに日本にいい印象を持つて帰国してもらうことは、防衛費で言えばどのぐらいの価値になるのか分からぬほどだ。一人ひとりの県民にものきることではあるだろう。

仙台国際空港は国際線ターミナルに続いて、国内線ターミナルも立派に改装オープンを果たした。滑走路の三千メー

トルへの延長ももうすぐ。文字どおり国際空港としての体制が整った。大いに利用を図らなければならぬ。仙台国際貿易港のほうも順次整備が進んでいる。定期の国際コンテナ路線が一気に三ルートもでき、あとは一日も早い特定重要港湾への昇格が待たれる。こういった基礎的な基盤の整備は是非進めていかなければならぬ。

国際化とか外交も中央経由だけでなくいい。これが二十一世紀の国際戦略であろう。足元である宮城県を知り、愛し、誇りを持ちながら、国際的基準の中でも通用する人材を育していく、そんなことが強く求められている。

日本を離れ、すでに四半世紀が過ぎようとしています。当時、東京藝術大学美術部を卒業するにあたり、周囲の風潮に対して強い疑問と不安を感じていたように思います。アメリカナイズされた物質主義やシステム化が進む中、創作といふあまりにも個的行為がそれらにおかれていくという不安だったように思いました。

この長い外国暮らしの中では得たものは国籍や人種の違いを超えた人の情、思いやり、人類の豊かさ又悲しさ、何にもまして自分が日本人であるということ、そして仙台人であるということです。自分の中に血を受け育った故郷仙台と、人として生まれ、そして

きな座標となり作品たちが生まれ来るのだと思います。このたびイタリアにて国際グランプリを受賞することになりましたが、今後其初心を忘れずにはがんばりたいと思う今日この頃です。

高20回卒
彫刻家・画家（イタリアローマ在住）

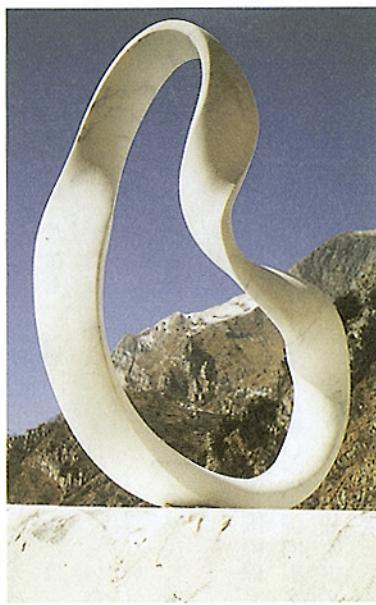
武藤順九

「仙台人、ローマに暮して」

海外で活躍中の方々

この頁は、海外で活躍中のの方々からの寄稿と紹介文で構成しております





イタリアピエトロサンタ市
「ウェルシリア賞

「エールシリアル賞」受賞

●当賞は一九九一年に創立され、彫刻の都ピエトロサンタ市を中心に各界より選考委員十人が選ばれ毎年その年のベストトイヤー作家として受賞者一人が決められる。今年度は武藤氏が受賞した。日本人としては二人目。受賞者選考に当たり、各ノミネート作家（彫刻を主体として、絵画も含まれる）はその芸術性、世界のアート界での業績等と共に、世界に名だたる「彫刻の都」ピエトロサンタの名にふさわしい作家であることが条

クかつ質の高い賞として世界でもユニークかつ質の高い賞として世界のアート界の注目を浴びつつある。そして大賞受賞者には当市のふさわしい場所にその作品が永久設置され、作家の名譽が讃えられる。武藤氏は本年度のグランプリを獲得、国際的な評価も高まっている。來たる二〇〇〇年には記念事業として大賞受賞者だけの国際展が企画されている。

順九プロフィール

受賞記念展を陶芸家岩井純氏（仙台二高一八回）と共に開催。その後松島瑞巌寺、東京銀座「和光」など日本国内の記念展が予定されている。

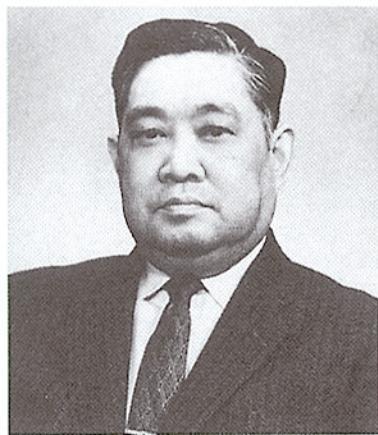
(同窓会報第29号参照)

武藤順九プロフィール

1950年	仙台に生まれる
1968年	仙台二高卒業
1973年	東京芸術大学美術部卒業。 フランス渡航、パリ滞在。
1974年	スペイン滞在。個展ムルシア市立カシノ
1975年	イタリア滞在。 ローマにアトリエを構え、現在に至る。
1976～79年	ローマ、ミラノ中心に活躍。
1980年	宮城県立美術センター個展（仙台）
1981～84年	東京、福岡、名古屋、横浜等国内各地で個展開催。
1988年	藤崎（仙台）ルセーヌ館（東京）で個展

1990年	ローマにてイタリア文化省招待個展
1994年	武藤順九「生命のオブジェ達」仙台藤崎展
1996年	武藤順九の世界とその絵画と彫刻展 京都 山総美術個展、仙台 藤崎ギャラリー
1998年予定	9月 藤崎ギャラリー個展 10~11月 松島瑞巖寺宝物館個展 12月 1日 銀座和光個展

武藤氏は新作は故郷仙台で優先発表、仙台を発信基地に展開をはかっている。来年に向けイタリアで製作に専念中。



第十二代校長 小針壽一先生



仙台二中・二高、在学・在職中の思い出（下）

高四回卒・旧職員 佐々木 武夫

私の二高在職期間は、昭和四十八年四月から六十二年三月までの十四年でした。この間の幾多の思い出の中特に印象深く、忘れないものを幾つか挙げてまいります。

◎小針壽一先生のこと

昭和四十九年一月二十日、第十二代校長小針壽一先生が急逝されました。三、四日風邪を患い静養中の小針先生が十六日、病床にあって休職中だった小館隆先生の訃報に接して大変悲しまれ、力を落としておられたと伺つておりますところ、先生御自身もそ

の四日後の二十日に亡くなられました。数日前には正月恒例のP・同懇親会にも出席しておられたのにあまりにも突然の御逝去であります。告別式は二十五日体育館において全教職員生徒、父母、同窓生、教育関係者、高野連関係者等約二千名の参列のもと学校葬としてしめやかに執り行われました。各分野の代表の方が弔辞を奉読しました。高校長・元県教育長山下忠先生の弔辞は、胸に迫り、耳底に残つて離れません。「いつの調子は上々です。」といふ君の言葉を見ると、君のその声も聞いたのは今年の元旦であります。それなのに今、また姿もなく、ただ現

の四日後の二十日に亡くなられました。数日前には正月恒例のP・同懇親会にも出席しておられたのにあまりにも突然の御逝去であります。告別式は二十五日体育館において全教職員生徒、父母、同窓生、教育関係者、高野連関係者等約二千名の参列のもと学校葬としてしめやかに執り行われました。各分野の代表の方が弔辞を奉読しました。高校長・元県教育長山下忠先生の弔辞は、胸に迫り、耳底に残つて離れません。「いつの調子は上々です。」といふ君の言葉を見ると、君のその声も聞いたのは今年の元旦であります。それなのに今、また姿もなく、ただ現

の四日後の二十日に亡くなられました。数日前には正月恒例のP・同懇親会にも出席しておられたのにあまりにも突然の御逝去であります。告別式は二十五日体育館において全教職員生徒、父母、同窓生、教育関係者、高野連関係者等約二千名の参列のもと学校葬としてしめやかに執り行われました。各分野の代表の方が弔辞を奉読しました。高校長・元県教育長山下忠先生の弔辞は、胸に迫り、耳底に残つて離れません。「いつの調子は上々です。」といふ君の言葉を見ると、君のその声も聞いたのは今年の元旦であります。それなのに今、また姿もなく、ただ現

の四日後の二十日に亡くなられました。数日前には正月恒例のP・同懇親会にも出席しておられたのにあまりにも突然の御逝去であります。告別式は二十五日体育館において全教職員生徒、父母、同窓生、教育関係者、高野連関係者等約二千名の参列のもと学校葬としてしめやかに執り行われました。各分野の代表の方が弔辞を奉読しました。高校長・元県教育長山下忠先生の弔辞は、胸に迫り、耳底に残つて離れません。「いつの調子は上々です。」といふ君の言葉を見ると、君のその声も聞いたのは今年の元旦であります。それなのに今、また姿もなく、ただ現

てて落ちしました。まるで莊重悲愴な葬送曲を聴く思いであります。

◎創立八十周年のこと

（二）記念事業と知事の約束

昭和五十五年（千九百八十一年）、本校は創立八十周年を迎えた。学校・同窓会・父母会が一体となって記念事業実行委員会を結成、記念事業として校舎改築に伴う施設設備の充実、校地環境の整備、校史（八十年のあゆみ）・同窓会名簿の刊行、記念式典・祝賀会・講演会・芸術鑑賞会等の挙行、藏王遭難記念碑の改築等を掲げました。その資金調達の方法として、同窓会側は募金目標額三千万円、これを篤志寄付でもって調達、協力することとしました。

学校としては、全教職員がこの大事業に当たりましたが特に同窓職員は同窓生諸兄からの募金や八十年のあゆみと同窓会名簿の刊行や遭難碑の改築等に深く関わりました。遭難碑の改築に当たっては、中十九回卒の小林慶己・二十九回卒の渋川二郎・東良治・斎藤健児・佐藤龍夫・高橋八郎といった方々やそれを物心両面から支援された同期の方々、また月田石材店父子（子は高

四回卒月田文和氏）のお力に負うところ極めて大きいものがありました。国定公園内の施設の改装ということできれども許可を得るためには渋川氏は山形へ何度も訪れております。実際の工事に当たつても、車や機械力の使用は厳禁、セメント・砂・水・スコップ・鎌（コテ）等の資材や用具は人力による運び揚げです。この重量運搬の役目を担つたのが現役の山岳部員やラグビー部員でありました。碑は、熊野岳山頂付近にあります。登頂の折には、どうぞお立ち寄りになって合掌ください。

この碑の背面の銅板に建碑の由来が記されています。

それは、二高藏王池の傍らに建つ「登嶽記念碑」の文章をもとに私が作文したものを、

当時の二高事務長で書家の佐藤運藏氏が揮毫したものであります。

三千円を目標にした同窓会の募金活動は、三千六百四十万円に達し、これを資金の一部として記念事業が推進されました。五十五年十一月十二日、二高体育館において八十周年記念式典を盛大に挙行。その席上來賓の山本知事が挨拶の中で、八十周年記念事業

の柱の一つであった校舎改築に関して「伝統ある仙台三高にふさわしい新校舎を建築することを約束する。」と述べられたものですから、至上の朗報に館内が大きくなりました。

(二) 八十年のあゆみのこと

「あゆみ」の校内編の現況に関する部分は、教務部・進路指導部・生徒指導部・図書部・厚生部・PTA係等といった各部の部長とスタッフの寄稿によるものでした。校史の部分は、草創期・明治期・大正期・昭和前期を菅原三雄教諭が、戦後復興期・創立六年から七十年代へは、芳賀良光教諭と私が、部活動の記録の収集・整理・写真レイアウト等を佐藤光一教諭が担当しました。この校史担当の四名は、校内編集委員会の中の小委員会のメンバーとして大委員会の方向付けのもと資料の収集整理・執筆編集・印刷会社との交渉連携等の刊行推進役を担わされておりました。

回想編に関しては、既にこれまで同窓会報等に掲載された旧教職員・同窓生の文章の中から校史上、時代・時期の特色の表れているものを選んで中核に据え、新たにお願いなく開き得るよう、しかも長期利用にも耐え得るようにカガリ綴じとし、表紙は濃紺のレザーパーツ、書名は変色しな

したものを作りました。更に、定着度の高い金箔で入る。布張の表紙では書名の金箔が剥落する恐れもあります。明彦氏（中四十六回卒）・八巻史朗氏（中四十回卒）・八巻八名による座談会「わが学舎の青春」の筆録も併載、一層充実させることができました。

学校の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同窓諸兄には懐かしい回想の資

料は、校史の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同

窓諸兄には懐かしい回想の資

料は、校史の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同

窓諸兄には懐かしい回想の資

料は、校史の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同

窓諸兄には懐かしい回想の資

料は、校史の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同

窓諸兄には懐かしい回想の資

料は、校史の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同

窓諸兄には懐かしい回想の資

料は、校史の「あゆみ」というものは、統計記録集だけでは無味乾燥の文集となります。同

い、定着度の高い金箔で入る。布張の表紙では書名の金箔が剥落する恐れもあります。紙質は、中質紙・上質紙・アート紙・ロストンカラーペーパーの四種類あるが、その紙価は上質紙を八十円とするとアート紙は百円、ロストンカラーペーパーは百二十円とのこと。アート紙は機上の印刷用紙とされているが紙面の光沢が強すぎて夜間など照明に反射して読みにくい欠点がある。ロストンカラーペーパーは光沢を抑えており、しっとりした落ち着きがある。この用紙に活版方式で印刷すれば文字も写真も極めて鮮明に浮き立つて見え、迫力のある紙面となるというのです。「あゆみ」は色々な選択肢の中から最良の方式の組み合わせで刊行されました。

印刷会社社長松本興四郎氏（中四十七回卒）の全面的な協力がありました。題字は、当時の校長高橋清久先生の揮毫であります。一夏かけ鍛磨し清書された三百枚近い中の一枚。すこぶる肉太で、搖るぎない、氣概溢れる題字ではなかったでしょうか。



旧校舎

（三）旧校舎解体のこと

旧校舎の解体は、五十七年五月三十日、北校室で凌ぐのです。工事車が頻繁に出入りするので生徒の通路とは全く別のものとするこ

と、解体工事の騒音が授業妨害にならぬこと、工事車は徐行運転励行すること等を学校は業者に強く要望しました。

五十八年五月三十日、北校舍（教室棟）が竣工。七月十四日、南校舎解体開始、八月三十一日完了。新南校舎・新講堂棟建築に着手、五十九年三月十五日竣工しました。

「北社会」主宰二十一年の思い出

中40回卒
青山史朗

昭和五十年春在京同窓会の再建はなつた。出来たばかりの会員名簿を見て佐藤一郎氏

(中35) は唸った。多士済々 これ程の優秀な人材を活用し ない手はない。講師に招きそ の専門分野の話を聞かせて頂 こうと始まった勉強会が二十一年一八九回をもって幕を閉 じたが、いま多くの感慨をこ めてエピソードのいくつかを 披露しようと思う。

以下特に思い出に残る講師たちをご紹介する。

どれ程多くの企業が協力しあつたかを語った。

○平朝彦氏（高17回）東大海洋研究所教授「海洋調査技術の最先端を行く」大野氏が造った船に乗り研究する教授。二人とも

○那須翔氏（中42）東京電力
会長「電気屋が思うこと」平
成八年十二月十六日閉会記念
講演は同窓の出世頭那須さん
にお願いした。日本の電力業
界のリーダーとして活躍中の
氏は水力・火力・風力など多
種の発電方法があるにせよ原
子力利用はどうしても欠かせ

れいすかんボン升て出でて数三の明細にはただ驚くばかりであつた。

どれ程多くの企業が協力しあつたかを語った。

これはかつて見たこともない上品で見事なものであつた。

○那須翔氏（中42）東京電力
会長「電気屋が思うこと」平

○第一回は東京瓦斯會長安西浩氏であつた。氏は東北大学生の身分で物理を教えておられたそうだが、なにせ母校が北六番町時代の昔のことと、安藤太郎住友不動産社長や大先輩たちが薰陶を受けられた方である。氏は翌朝ソ連政府の招聘で羽田から出発の前夜ヤクーチヤ・チュニメ油田の開発について熱弁をふるわれた。八十二才の高齢にもかか

のがあった。翌月王子製紙の赤間専務（中32）が早速自社内に新チームを結成した旨報告されたが、これなどは講演が実際に役立った例である。

○安久津英男氏（中40）動燃東海事業所長鈴木進氏（中40）大洗工学センター所長

昭和五十年当時日本の原子力利用の最高権威がわが同窓で占められていたことをご存じであろうか。会員20余名を

何度も現場で顔をあわせながら同窓であることを全く知らず、私の紹介で感激のご対面となつた。

その後四千米の六千米の新鋭船が進水し、平教授は今でも日本海溝の深海プレート移動の研究に携わり大

ぬと言われ、いまだに一人の死者もでていない安全性を見てほしいと結んだ。講演後超満員の出席者のため立食バー
ティとなり、安藤太郎会長、山川民夫先生ほかの会員から小生への慰労のお言葉と花束を頂戴し、さっと過ぎた二十分の一年の会の流れに万感胸に迫るものがあつたが、あらためてよき友人たちと出会えた幸せに感謝している。　合掌

引き連れて見学旅行に出かけ
大歓待をうけたが、最近の動

きな成果を学界に発表していく。
る。

酒は天江本家寄贈の名酒
「天賞」料理は公邸シェフが



一年の会の流れは万感胸に迫るものがあつたが、あらためてよき友人たちと出会えた幸せに感謝している。　合掌

に追

広島支部から

高17回 佐藤 均



④ 加藤英臣さん（高6回）

広島商船高専を退職され、

今春大阪へ移られました。

⑤ 高橋博さん（高6回）

第三回から参加されました。

広島をごうにお勤めです。

⑥ 奥田幸造さん（高12回）

三菱重工長崎から広島へ。

第五回から参加頂いてます。

⑦ 高岡克寿さん（高30回）

福島生協病院の医師です。

前回はご欠席でした。

① 宇都善満さん（中40回）

これは今年二月の第六回広島支部会の出席者の写真です。

一人ずつ紹介します。

② 小田原正三郎さん（中40回）

支部長を引き受けて下さつて金体のまとめ役です。

③ 中川文徳さん（中42回）

県東部の福山市から毎回欠かさず出席されています。

④ 岡本和夫さん（高1回）

支部の発足から運営まで実質的なお世話を頑張っています。

⑤ 広島大の名誉教授です。前回はご欠席でした。

連絡先
佐藤 均

広島市佐伯区八幡が丘
一丁目一の十九

傘下のホテルチューーリッヒで

賑やかに飲み語り、校歌を歌い、二次会は石巻出身のご夫

婦が経営する「男鹿」へ。時には三・四次会まで。この時は杜の都仙台人になりきつての本当に楽しい時間です。

又、仙台一中一高と合同で

同窓会をやろうという話がま

とまり、昨秋に仙台から堀田

会長、木口校長先生、横山先

生をお迎えして「広島広瀬会」

が発足しました。十五名の参

加で、とても盛会で毎年十一

月に開くことになります。

仙台とは何かにつけよく似た所を持つ広島です。行政・

企業の交流も多いです。大河

ドラマ毛利元就は好調ですが

広島カープ・サンフレッチェ

はもう一つ波に乗れません。

そのうち調子が出るでしょう。

世界遺産の原爆ドーム・宮島

厳島神社も素晴らしい所です。

お好み焼きを食べ、酒都西条

の酒を飲み、是非広島を味わいにお出で下さい。広島支部

一同お待ち致しております。

後輩で広島在住のお知りあいがいらっしゃいましたら佐藤

まで是非ご連絡下さい。

支部会は、毎年中川先輩の

傘下のホテルチューーリッヒで

賑やかに飲み語り、校歌を歌い、二次会は石巻出身のご夫

亘理支部の現況

高9回亘理支部長 山田芳廣

亘理支部は学区制のため、

後輩はなく全員は32名で頑張つております。

本年の総会は10月12日（第二十曜日）に

ドライブイン山こうで開催いたしました。

総会には、本部より石井副会長さん、木口校長

先生、横山事務局長のご出席

を頂き、盛大に行なう予定にしております。

又同窓会事務局の森俊之先

生（亘理出身）も亘理支部に

入会して頂くこと約束してお

りますので、支部としては大

変心強く思う次第でございま

す。松岡先生、森先生、お二

人の今後のご活躍をご祈念申

し上げます。



16年、120回を迎える北陵会

仙台二中・二高北陵会は、昭和56年発足以来16年、同窓講師による例会も120回を迎えました。同窓の会員は現在350名、年間5~6回の例会を行っています。北陵会ならではの多士済済の同窓の講師に恵まれ、会員相互の交流も盛んで、ユニークな同窓会活動として評価されています。

入会資格は同窓会員、年会費3,000円、例会費3,000円、事務局は電話 022(261)0671 (株)紅谷(べにや)高橋。以下16年間の軌跡。講師名と演題を掲載する。

仙台二中・二高北陵会最近20回例会講師及び演題一覧

(「お仕事」は例会開催時のものとさせていただきました)

回数	例会日	演題	講師ご氏名	回期	お仕事
101	6.4.15	情報通信と地域振興	大田 邦美氏	高5	東北電気通信管理局長
102	6.6.28	中高年の健康増進のためのスポーツ医学	原田 伸正氏	高5	原田外科医院理事長
103	6.8.26	仙台あれこれ —22年ぶりに仙台勤務となって—	板井 敬之氏	高16	日本長期信用銀行 仙台支店支店長
104	6.9.22	マルチメディアと自然環境	合田 周平氏	高3	電気通信大学教授
105	6.11.30	ハイビジョンの動向	山本 博也氏	高8	NHK仙台放送局長
106	7.3.8	伊達者たち	浜田 直嗣氏	高11	仙台市博物館館長
107	7.5.22	脳の手術 —脳にメスを入れるとき	小川 彰氏	高19	岩手医科大学教授
108	7.8.22	環境と共生	二郷 精氏	高16	設計集団空 代表取締役
109	7.9.22	知事の仕事	浅野 史郎氏	高18	宮城県知事
110	7.11.8	ウイルスと植物 —ウイルスに対する植物の反応—	江原 淑夫氏	高8	東北大学農学部教授
111	8.3.21	プロサッカーの世界 —Jリーグへの挑戦	鈴木 武一氏	高27	ブランメル仙台GM
112	8.5.22	命・企業・団体・地域の危機管理	渡辺 正明氏	高6	渡辺経営事務所所長
113	8.6.5	21世紀都市仙台の構図	藏田 博之氏	高11	仙台市財政局長
114	8.7.26	懇親パーティー (サッポロビール園)			
115	8.9.27	ローカルイニシアティブ —地方が自立するための発想の転換—	平間 久雄氏	高3	東北産業活性化センター 専務理事
116	8.11.21	宮沢賢治の生涯と作品	宮沢 雄造氏	高6	宮沢賢治記念館館長
117	9.3.24	「ホンダと私」	大久保 叙氏	高1	本田技研工業(株)社友
118	9.4.15	野球の源流	佐藤 千春氏	高1	早稲田大学教授
119	9.6.6	太平洋戦争をやりなおせば	井上 秀夫氏	高3	(株)プレスタイル 社長
120	9.9.26	大学から21世紀の日本	阿部 博之氏	高7	東北大学総長

※紙面の都合により全120回のうち、最近の20回に限らせていただきました。

卒業六十周年記念クラス会?

中39回 五十嵐 敬輔



一九三九年第三・九回卒業の我々同期会は通称さんきゅう会と云う。単純で親しみのある良い会名と思っている。

さんきゅう会は毎年総会を兼ねてクラス会を開いている。昭和五十四年八月卒業四十周年記念クラス会を作並温泉(岩松旅館)で開催、恩師堀見、三島、進藤、高槻の諸先生と歓談、席上記念樹(高野楨)目録を伊藤英造校長に贈

呈、翌年五月高橋清久校長と打合せ母校玄関前河合校長胸像左側に植樹した。そ

して平成元年四月卒業五十周年記念クラス会を秋添灘(ホテルニュー水戸屋)で開催。当日は母校に集合、正面玄関前で記念撮影後着任間もない牛田敏校長の案内新講堂、コモンホール、図書室を見学、

感する。さてどうするか。どうなるかと思案せざるを得ないこの頃である。

丁度この日は、恩師横澤三郎先生の三十三回忌に当たりま

すので、総会に先立ち、午後一時より折りからの春雨の中、瑞鳳寺に於いて、ご遺族の方々と、私達会員有志参列のもとで法要がとり行なわれました。法要後、皆で先生の

お墓に線香をたむけ、ありし日の先生の面影を偲びました。



同期会便り

ホテルでは堀見、高槻両先生、牛田校長を聞くで歓談。

清流会も五十六才になりました

中41回 菅井 富

平成九年三月二十二日、仙台ガーデンパレスに於いて、仙台二中四十一回生のクラス会「清流会」の第五十六回総会を行いました。

丁度この日は、恩師横澤三郎先生の三十三回忌に当たりま

すので、総会に先立ち、午

後一時より折りからの春雨の中、瑞鳳寺に於いて、ご遺族の方々と、私達会員有志参列のもとで法要がとり行なわれました。法要後、皆で先生の

お墓に線香をたむけ、ありし日の先生の面影を偲びました。

来年の再会を期し、最後に凱歌を歌つて会を閉じました。

清流会第56回総会 9.3.22 於 仙台ガーデンパレス



菅井 富
猪股令夫人

猪股 三郎
板垣欽次郎

遠藤 憲治
西條 貞雄
松本 伍良
野村 安男
相田 二郎

十三回総会を行ひ、翌朝、先生も私達と一緒に、元気で頂上まで登られたこと、つい最近のようになればれ、感無量のものがありました。

総会は午後五時より行われまし

たが、例年の四月より早まり、都合の悪い会員も多く、出席者は九名と些か寂しい会合になりました。しかし、二月に亡くなった吉田忠正君の話題で、時間の経つのが分かりませんでした。

せんでした。

二中卒業後五十六年になり、会員も一人減り二人減りしてあります。年齢のしからしまむ所で、致し方ないことです。しかし、今日出席した会員の中には、百才まで生きると張り切つておる人もおりました。

来年の再会を期し、最後に凱歌を歌つて会を閉じました。

三八会近況

中38回
高橋剛

我々同期会の名称三八会（サンバチ）、昭和十三年中学三八卒である。命名の由来は我々年代とは切っても切れない因縁の38式歩兵銃に因んだと記憶する。幹事持廻りで年一回はやろうと意気込んでいたが、いつの間にか立消えとなり、これでは駄目だと世話役専任で毎年五月上旬にやっている。今年も五月七日皆喜寿を迎える。小なりとも功成り名遂げ而も病気に負けない面々一七名参加で一夕歓談した。皆前向き思考、健啖。

岡君は二中同窓会の名簿委員となり、苦労の末略完全整備すみ。それによると卒業総数二〇四名、物故者判明分一〇

八名、不明者八名。さすが戦争による犠牲者の最も多い世代か戦死者は可成り多い。それにもしても八八名生存者の住所確認が出来たこと全く敬意を表する次第です。喜寿を過ぎれば余命と言うべきか、今後益々お互様自愛を祈ります。

個人情報

（清流会）と同窓会、仙台工専のクラス会と同窓会の幹事として駆け回っております。

風のように

高21回
小瀧寛

過日憧憬の
三丙丸山へ行つて来ました。
栗の巨木の塔。

絶句です／人



東北大金研資料展示室

寛

ネットワーク
に期待

高30回

渡邊善夫

現在、東北通商産業局公益事業で原子力PA（パブリックアクセスペタンス）事業を主に担当しております。新潟県を含めた東北7県の発電所等とその立地地域が対象で、東北電力㈱はじめ東京電力㈱等とお付き合いをしております。最近は、動燃の度重なる事故から、原子力発電に対する不安が多く、対話重視のPA活動を検討中です。その対応にはいろいろな分野で御活躍の二高OBの人的ネットワークに期待しております。

間は累々と否、類類と継承しています。此処が原点でした。此の地で縄文の人間は何を想っていたのですか？幻想の海へ目を細めても唯風のよう。風のように。爛漫の桜花は徒に風に舞っています。たんぽぽの黄色が綺麗です。貴女も綺麗でした。

副会長就任にあたり



高2回 星 卓次

鮑は産卵の為、生まれた川へ戻り、一生を全うするといわれているが、副会長としての責務を与えたことは正に母校は生まれ育った川であり戻ってきてそこで働くよろこびを感じる。即ち、日本が降伏する前年、いわゆる旧制二中に入り、戦時色の濃い時代を過ごし、終戦の日、校庭北側の桜の木の下で防空壕をつくつていて玉音を聞いた。

◆ ◆ ◆

叙勲・受章

◆ 獲五等瑞宝章
山家 穎一（中41回）
◆ 獲一等功勞十字勳章
（ドイツ政府より）
氏家 榮一（中33回）

※氏家氏は、昭和五十八年に発足した仙台日独協会の初代会長として、仙台日獨文化センターを開設するなど両国文化交流に尽力した。（以上平成九年三月一日付河北新報記事より作成）

り今年より新設された事務局に籍を置くことになった。西暦二〇〇〇年の母校創立百周年も間近に迫っている。記念式典、その他諸事業も立案中である。これに対する同窓会員の一層のご参加が要請されるところである。その推進の一翼を担うものとして責務を全うしたいと考えている。よろしくご指導ご鞭撻の程を！

蔵王遭難の碑の再建を

中41回 山家 穎一



著峰秀で水澄みたりの所々に散見する一中遭難の様子に感銘を受けていた折しも同窓会報28号清野栄一氏の御投書拜見、最も現地に近い所に住む者としては是非再建したく存じておりましたが、数年来右脳内出血にて療養中でしたのが、老化も進みますので意を決し次男同行の上六月二九日カナガラ佛に詣りました。

当日は台風8号の余波で風雪にさらされたのでやむを得ませんが、何とか再建し、二高伝統精神を後世に伝えたい存じます。少々の金員を同封いたしますので御相談の上費用の一部にお使い下さい。

最後になりましたが、校長

東 良治（中20回卒）
渡辺 浄泉（中27回卒）
佐藤 正己（中28回卒）
相沢喜八郎（中35回卒）
齊藤 正己（中36回卒）
閔 秀雄（中37回卒）
野村 康（中42回卒）
小新 幸治（中42回卒）
福地 昭三（中45回卒）
大崎 昭三（中45回卒）
白石 景秀（中46回卒）
栗林 卓司（高1回卒）
中瀬 真（高6回卒）
熊谷 浩人（高28回卒）

店では小生等が本日の初客とか。社務所で同窓会報を示しました。百周年記念事業の「遭難の碑」再建費用の一部として使わさせていただきます。

強く霧も深く時折雨も降り売店で先生始め皆様のご健勝をお祈りしております。宜しくお願ひ申し上げます。

※以上のお手紙とともに、金五拾万円をご寄付いたしました。百周年記念費用の一部として使わせていただきます。

計

報

上昇します。

（以上、事務局判明分）
心からご冥福をお祈り申し

P.10からの続き
旧校舎解体の時ですが、クラッシャーと呼ばれている強力な粉砕機でコンクリートの壁や柱や天井を次々と取り壊してゆくのです。更にコンクリートの固まりと鉄筋を速やかに分離させます。分離された鉄筋は適当に切断、丸めてしまいます。懐かしい校舎が、こうして毎日姿を縮小し、消滅してゆくを見るのは寂しいことでした。

旧校舎解体の前年の五十六

年八月二十二日「フェスティバル・イン仙台二高」が盛会

裡に挙行されましたのも忘れられません。これは、「懐か

しの校舎よ、サヨウナラ」

「古き良き時代の良さを新し

い世代へ伝えよう」と同窓諸

兄に呼び掛けたもの。一通り

の儀式の後、昔懐かしい十指

に余る恩師の講義を拝聴、夕

刻会場を天守台・本丸会館に

移し、恩師を囲んでの大懇親

会。凱歌・応援歌・校歌高唱

で終幕を飾りました。同窓会

主催で特に高六回生が中軸と

なり、五・七・八・九回生が

支援・推進した行事でした。

(四) 新校舎落成と第五代校長河合絹吉のこと

昭和五十九年七月七日(土)

午後二時から二高新講堂において新校舎落成記念同窓会総会を開催。八十年記念事業の同窓会関係の会務報告・寄付金収支報告等の承認後、新校舎の披露。統て会場を天守台本丸会館に移しての新校舎落成記念同窓会祝賀会を挙行しました。「集え! 燃えよ! 北陵健児!」を合い言葉として立錐の余地もないほどの盛會。県や学校で行う公式の落成式典に先立つての同窓諸兄への披露でした。公式の落成式典は、十月二十七日に挙行。この時、西沢潤一先生の記念講演がありました。

尚、旧校舎解体・新校舎の基本構想と建築・新二高八景・大磐石・陶板壁画等に関する記念講演がありまし。同窓会報の十五号から二十号にかけて校長仁科博之先生、会長堀田康哉氏、教頭柴田久先生が詳述しておられるところあります。

ところで「あゆみ」の資料を涉獵中、河合元校長が県当局に提出しておられた要望書の控えが見つかりました。

解体された旧校舎は、昭和三年に建築されたものでした。が、その校舎建築に際し施設設備の三十有余の項目にわたる要望書であります。そのい

くつかを挙げますと、

① 鉄筋コンクリートは殺風景になりやすし。多少の装飾を加えられたきこと。

② 教室・講堂・控室・道場・特別教室等は必ず床板を張ること。できれば腰板も反響を防ぐに必要なり。

③ 開き戸は不都合多し。引き戸とせられたきこと。

④ 理科博物教室・講堂には暗室装置を要す。活動写真利用の場合必要なり。

⑤ 便所は水洗式、手洗所は洋式にすること。

⑥ 宿直室にはガス発生所を利用、ガスストーブの装置。

⑦ 暖房はスチームによること。

⑧ 柔道場の床にはバネを仕掛け、畳の厚さ三寸以上。

⑨ 剣道場の床は隠し釘とし、米松は用いざること。

⑩ 運動場適当の場所に水場・小便所を作られたきこと。

さて、母校はあと三年で創立百周年を迎えます。八十年の記念事業を土台にし、百年記念に相応しい記念事業を完遂され校運の益々隆盛発展がありますよう祈念いたします。私の回想も、そういう次第で創立八十年前後のこと集中してしまいました。

私が六十二年三月離任式に臨みました時、生徒諸君に「二高は人の和と地の利と天の時に誠によく恵まれております。この幸せは、歴代の全教職員生徒、同窓生、父母が連携、努力精進を重ねられた賜物です。これを存分に享受し、更に良き二高の伝統を創造されんことを念願して止みません。」等と挨拶して降壇しましたことを思い出しております。

教科・学級・部活動指導の中のこと、同窓会事務局として庶務や会報発行に携わった中でのこと、また、「雲濤庭」をはじめとする新二高八景の庭名や由来を揮毫させて戴いたこと等の思い出に詳しく触れず終いになってしまい紙数も尽きました。

私が六十二年三月離任式に臨みました時、生徒諸君に「二高は人の和と地の利と天の時に誠によく恵まれております。この幸せは、歴代の全教職員生徒、同窓生、父母が連携、努力精進を重ねられた賜物です。これを存分に享受し、更に良き二高の伝統を創造されんことを念願して止みません。」等と挨拶して降壇しましたことを思い出しております。

私は、この記念事業に際しては、この文明の利器を果敢に採り入れようと思われます。最先端

フェスティバル・イン 仙台二高



1981.8.22

宮城県仙台第二高等學校同窓会

「フェスティバル・イン仙台二高」

開催要項表紙写真

同窓会 報 告

平成9年度 三役会 報告（四月～八月分）

四月十五日	予算編成について（科目の変更について）	下記のような議題で定例の三役会が行われました。
四月二十日	広報委員会報告（会報年一回発行について）	広報委員会報告（会報年一回発行について）
五月二十一日	名簿委員会報告	名簿委員会開催時期について
五月二十二日	予算案について	同窓会名簿修正入力について
五月二十三日	百周年準備委員会報告（実行委員会規約・予算概算の検討）	同窓会名簿修正入力について
六月十三日（臨時）	百周年記念事業実行委員会発足準備について	総会の持ち方について（最終確認）
七月三日	事務局月次会計報告（四・五月分）	百周年記念事業実行委員会報告

総会の持ち方について（最終確認）

百周年記念事業実行委員会報告

第二回 四月十八日
実行委員会の規約・組織について
原案の提示と審議

七月八日
百周年記念事業実行委員会報告

第三回 五月十六日
実行委員会規約と組織図の修正点の確認と検討

記念事業の予算規模について

第四回 六月二十七日
実行委員会設立総会の準備

計画について
(顧問の人選の方針の検討)

平成九年十一月七日 午後
六時～仙台二高で行う

記

ことを確認

寄付にたいする免税処置の申請についての確認

第五回 七月十四日

1 実行委員会設立総会の準備計画について

(顧問の人選の検討・今後の日程検討)

2 各部主催の記念事業（招待試合など）と、百周年記念事業全体との関係の調整について

以下のような議題で委員会が行われております。

応援歌の楽譜を求む

CD製作担当 二高教諭 徳山 高明

会員の皆様いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、既にご承知のように本校は来る平成十二年の十月に百周年を迎えることになります。これを機に校歌ならびに応援歌のCDを作成することになりました。ところが、例えば応援歌の場合、各世代によって歌われ方がまちまちになっています。そこで作製担当としては原楽譜、あるいは辿りうる古い楽譜を基礎資料と致したく、つきましては以下に記す応援歌の楽譜のコピーをお寄せいただきたく、よろしくお願ひ申しあげます。



平成 8 年度事業報告

5月14日	(火)	当番幹事打合会① (高7, 19, 20, 31, 32)	二高会議室	18時
6月3日	(月)	臨時役員会	二高校長室	16時
6月7日	(金)	役員会(三役) 常任委員会	二高校長室 二高会議室	17時 18時
6月25日	(火)	当番幹事打合会②	二高会議室	18時
7月6日	(土)	総会	仙台ホテル	17時30分
9月27日	(火)	募金部会①	二高校長室	16時
10月11日	(金)	総務部会	二高校長室	15時
10月23日	(水)	募金部会②	二高校長室	16時
11月28日	(木)	当番幹事打合会① (高8, 20, 21, 32, 33)	二高校長室	18時
12月5日	(木)	広報部会	二高校長室	15時
1月9日	(火)	当番幹事打合会②	二高会議室	18時
1月22日	(木)	P同懇親会	仙台ホテル	17時30分
2月26日	(木)	総務名簿委員会	二高校長室	15時
3月19日	(木)	名簿委員会①	二高会議室	18時

百周年ワーキング会議 下記に開催 二高校長室 15時
7/18, 8/27, 9/20, 10/21, 11/26, 12/19, 1/30, 2/21, 3/21

平成 9 年度事業計画

5月7日	(木)	名簿委員会②	二高会議室	18時
5月16日	(金)	当番幹事打合会① (高8,20,21,32,33)	二高会議室	18時
6月5日	(木)	役員会(三役) 常任委員会	二高校長室 二高会議室	17時 18時
6月25日	(金)	当番幹事打合会②	二高会議室	18時
7月5日	(土)	総会	仙台ホテル	17時30分
7月		名簿委員会③	二高会議室	18時
11月26日	(木)	当番幹事打合会① (高9,21,22,33,34)	二高会議室	18時
1月		当番幹事打合会②	二高会議室	18時
1月21日	(火)	P同懇親会	仙台ホテル	17時30分

百周年記念事業準備委員会 每月第三金曜日開催 二高校長室 15時
定例三役会 毎月第三火曜日開催 二高校長室 16時

当番回期の確認

○で開まれた回期がメインの当番

	平成9年	平成10年	平成11年
同窓会総会（7月第1土曜日）	高⑧ ㉚・㉛	高⑨ ㉛・㉕	高⑩ ㉜・㉖
P同懇親会（10年1月21日㈬）	21・33	22・34	23・35

同窓会総会次第		司会進行・事務局 須藤 亨	平成九年度
①	開会の辞	副会長・藤原佐一郎	副会長・星 卓次
②	挨拶	会長・堀田 康哉	閉会の辞
③	県外支部代表紹介	議長選出	⑦
④	会長・堀田 康哉	司会進行・高20回 常盤一之	閉会の辞
⑤	協議	物故会員の冥福を祈り、黙祷	副会長・星 卓次
(1)	役員承認	① 開会の辞	高8回・山形
③	② 校歌齊唱	副会長・藤原佐一郎	同窓会総会次第
経過説明・副会長・石井敏夫	当番幹事代表挨拶	(18時~20時)	同窓会総会次第
高8回・山形	淳		



④	会長挨拶	会長：堀田 康哉
⑤	学校長挨拶	校長：木口倉之助
⑥	来賓紹介	
⑦	来賓代表挨拶	
⑧	叙勲者紹介、記念品贈呈	
中33	氏家 榮一氏	
ドイツ勲一等功勞十字勲章		
中41	山家 順一氏	
トウゴク五等瑞宝章		
⑨	乾 杯	最年長・最年少会員
○ 祝儀披露		
○ 懇親		
○ 応援歌・旗振り		
⑩ 万歳三唱		
高21…荒井 善次他		
⑪ 閉会の辞		
副会長：高橋 正道		
高21…内藤 清秀		

部活動の成果 学芸部成績

部名	成績	部名	成績
吹奏楽部	日本吹奏楽指導者協会 管打楽器ソロコンテスト 最優秀賞 サキソフォン 相川 遠 優秀賞 サキソフォン 占藤 部 金賞 貢賞 トランペット 柳澤 小野寺 金賞 トランペット 佐藤 宮城県管打楽器ソロコンテスト 最優秀賞・会長賞 ファゴット 大沼 定期演奏会(平成9年7月13日) 平成8年度吹奏楽コンクール宮城県大会 Bクラス 銀賞	将棋	第32回全国高等学校将棋選手権宮城県予選大会 団体 3位 個人 3位(齋藤) 第13回宮城県高等学校将棋新人戦 第3位(佐々木) 第9回全国高校将棋竜王戦 宮城県予選 個人第2位(齋藤)
写真部	平成8年度第3回県高校写真展 佳作 3年太田「観瀬」(グレイッシュグリーン) 県高校画報編集3賞分担当	美術部	仙台市内高校美術展参加(6点) 高文連総合文化祭参加(仲林)
物理部	第49回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 「ヘロンの噴水の水位差による噴出力の変化」 優秀賞 菊池・梶谷 「コロイド溶液による夕焼けを作る実験」 優秀賞 小野寺・菊池・林崎	ギター部	Teen's Music Festival 協賛「高校対抗バンド合戦」 TBC東北放送賞受賞 3年 小野・坂本・深尾
閉幕部	第40回日本学生科学賞 「放物面反射鏡(集音鏡)の製作」 佳作 佐尾・森森 全国高校閉幕式選手権宮城大会 団体 第3位	書道	全国学生書道展 日中友好書道教育者協会会長賞 3年 新沼 宮城県小中高七夕書道展 仙台市長賞 3年 新沼
		JRC	仙塙地区事務局 宮城県及び仙塙地区会長賞 ネバール王国訪問(日本代表)渡辺公章(平成9年8月) タイ王国訪問(宮城県代表)安達誠(平成9年8月)
		社会部	県高校社会科生徒研究発表会(発表) ①太平道・五斗米道の興起と道教の確立 ②オランダ・イギリスの東インド会社とその盛衰(岩間) ③イラク・クルド問題を考える(小林) ④項羽と劉邦より字ぶこと(遠藤)

運動部成績

大会名 部名	平成8年度		平成9年度		大会名 部名	平成8年度		平成9年度	
	新人大会	対一高定期戦	総合体育大会	新人大会		新人大会	対一高定期戦	総合体育大会	
陸上競技部	110mH 3位(大川原) 1500m 4位 5000m 6位(竹田) 800m 7位(小平) 宮城県伝大会 14位	負	110mH 2位(大川原) 800m 3位(小平) 400mR 1600mR 6位 【東北大会】 110mH 3位(大川原) 800m 準決勝(小平) 400mR 予選敗 1600mR 準決勝		水泳部	総合4位 100m平泳 1位(宮村) 200m平泳 1位(宮村) 400mメドレーR 3位 (太宰・宮村・村上・辰野) 《水球》 高校総体 第2位 東北大会 第5位		《水球》 高校総体 優勝 《競泳》 100m平泳 2位(宮村) 200m平泳 2位(宮村) 200m平泳 6位(辰野) 200m個人メドレー 8位(太宰) 400m個人メドレー 7位(太宰) 100mバタフライ 8位(村上) 400mメドレーリレー 5位 800mリレー 7位	
硬式野球部	甲子園宮城大会 2回戦 仙塙地区ブロック 2位 秋季宮城大会 3位 秋季東北大会 1回戦 (対青森山田)	優勝	地区予選敗退 (仙塩Eブロック3位)		ヨット部	839艇 3位 1125艇 4位 959艇 5位	-	FJ級ロード 7, 8, 9位 デュエット 2位 【東北大会】 クロス 9位 デュエット 3位	
軟式野球部	選手権大会 1回戦 新人大会 1回戦	負	1回戦		空手部		-	組手 2回戦(足田・細川) 型 準優勝(細川)	
バレーボール部	仙台市民総体 新人大会 1回戦	負	2回戦		山岳部	第5位	-	第4位	
バスケットボール部	選手権大会 新人戦 4回戦	優勝	準決勝 3位		スキーパー		-	平成8年度 男子回転 46位(高橋)	
サッカーパー	選手権大会 新人大会 3回戦	-	2回戦		剣道部	団体 決勝トーナメントベスト16 個人	-	団体 予選リーグ 個人 ベスト16(演崎)	
ラグビー部	選手権大会 新人戦 1回戦	優勝	2回戦		柔道部	団体 決勝トーナメントベスト16	優勝	団体 決勝トーナメント2回戦 個人 決勝トーナメント(尾形・庄司・大平)	
ハンドボール部	市民大会 新人大会 準優勝 3回戦	-	2回戦		弓道部	新人大会 団体B 優勝 射道最優秀賞 東北大会出場	-	団体A ベスト16 B 2位 射道優秀賞 個人 射道優秀賞(大塚)	
卓球部	団体 個人 3回戦 4回戦	-	団体 2回戦		ソフトテニス部	団体 ベスト8 個人 出羽・千葉組 ベスト16 小野・野寺組 ベスト32	-	団体 2回戦 個人 各3回戦 出羽・千葉組 小野・野寺組	
バドミントン部	ジュニア選手権ダブルス 32位 団体 個人 2回戦 2回戦	-	団体 3回戦 個人 ダブルス 4回戦 高森・本田組 シングルス 各3回戦 高森、本田、若沢						
硬式テニス部	新人大会 団体 準優勝 個人 村上 ベスト4 野口 ベスト8 複 村上・野口組 準優勝 全国選抜東北大会 予選リーグ		団体 準優勝 個人 単打 3位(村上) 複 3位 【東北大会】 団体 2回戦(対盛岡南) 個人 1回戦						
備考	陸上 110mH インターハイ出場(大川原) (全国大会・東北大会出場など)	110mH インターハイ出場(大川原) (佐々木、疋田) ヨット インターハイ出場(ソロ)							

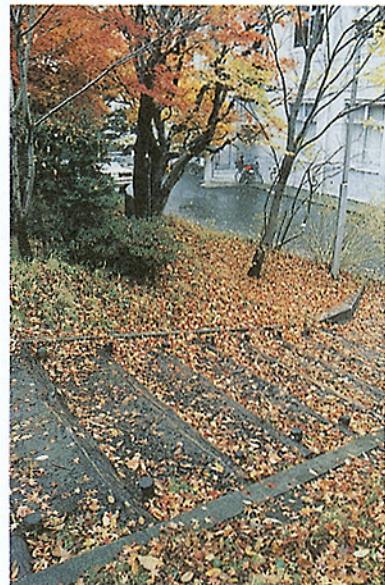
定期戦の結果

ラグビー(1・1)於一高 二高 28-25 一高	〈三部〉(5・17) バスケットボール 二高(24勝) 78-64 一高(23勝)
軟式野球(5・3) 二高 8-20 一高	バレーボール 二高(20勝) 0-2 一高(27勝)
	柔道 1人残して二高の勝ち 二高(36勝) - 一高(48勝)

<硬式野球> (5・9~10 於宮城球場) (通算24勝20敗8分)

一回戦	1 2 3 4 5 6 7 8 9 計
一高	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
二高	3 0 2 2 2 0 1 2 ×12
二回戦	1 2 3 4 5 6 7 8 9 計
二高	0 0 1 0 1 2 0 0 4
一高	0 0 0 3 0 0 0 0 3

*ピッチャー大竹、
ノーヒットノーラン達成



●「混民族芸術論」 ビレッジセンター出版	
●「新日本古典文学大系52」 岩波書店	
高21回	浦島政保 殿
高3回	山田俊雄 殿
中40回	山田俊雄 殿
高2回	千葉喜彦 殿
高3回	渋谷政義 殿
中40回	青山史郎 殿
高3回	井上秀夫 殿
中28回	小山峻 殿
●「東寧通走」 自家出版	小山峻 殿
●「からだの中の夜と昼」 中央公論社	千葉喜彦 殿
●「再生太平洋戦争」、「二二八」 K・Kベストセラーズ	渋谷政義 殿
●「名匠精華」 三井生命保険相互会社	青山史郎 殿
●「峻(思い出画集)」 自家版	井上秀夫 殿
●「峻(思い出画集)」 自家版	井上秀夫 殿

平成9年度・平成8年度の主な大学の合格者数

(その1)

大学名 (学部)	9年3月			8年3月		
	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計
東北 大	文	4	5	9	3	4
	教育	1	0	1	2	2
	法	7	5	12	8	10
	経済	18	6	24	13	12
	理	5	2	7	6	2
	医	1	3	4	3	0
	歯	1	1	2	1	1
	薬	3	0	3	0	0
	工	27	13	40	27	23
	農	3	3	6	2	5
計		70	38	108	65	59
124						
宮城教育大	3	1	4	1	5	6
北海道大	4	4	8	4	3	7
旭川医科大	0	0	0	0	1	1
弘前大	2	0	2	0	3	3
岩手大	6	1	7	5	5	10
秋田大	2	1	3	2	4	6
山形大	6	10	16	13	8	21
福島大	0	4	4	7	1	8
茨城大	0	0	0	1	1	2
筑波大	4	2	6	1	6	7
宇都宮大	1	2	3	1	2	3
埼玉大	0	7	7	1	3	4
千葉大	3	4	7	2	5	7
東京大	4	1	5	3	2	5
東京医科歯科大	0	1	1	0	0	0
東京外語大	0	2	2	0	0	0
東京学芸大	2	0	2	1	2	3
東京農工大	0	0	0	1	1	2
東京工業大	2	2	4	2	0	2
電気通信大	1	1	2	0	1	1
一橋大	2	2	4	1	0	1

(その2)

大学名 (学部)	9年3月			8年3月		
	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計
横浜国大	3	3	6	4	4	8
新潟大	0	3	3	0	3	3
富山大	1	0	1	0	1	1
金沢大	1	0	3	1	0	1
山梨大	0	0	0	0	1	1
信州大	0	1	1	1	0	1
静岡大	0	2	2	2	0	2
京都大	0	0	0	4	5	9
大阪外語大	0	0	0	1	0	1
広島大	0	0	0	1	2	3
九州芸工大	0	0	0	0	1	1
その他	1	4	5	1	3	4
国立大学合計	118	98	216	126	132	258
宮城大	1	4	5	-	-	-
福島医大	0	1	1	0	1	1
高崎経済大	3	1	4	3	1	4
東京都立大	2	4	6	4	1	5
横浜市立大	0	1	1	1	0	1
その他	2	1	3	2	4	6
公立大学合計	8	12	20	10	7	17
東北学院大	3	1	4	0	3	3
文	3	1	4	0	3	3
経済	4	10	14	3	16	19
法	5	7	12	1	5	6
教養	0	3	3	0	3	3
工	0	3	3	3	2	5
計	12	24	36	7	29	36
東北工業大	2	1	3	1	2	3
東北福祉大	0	0	0	0	1	1
東北薬科大	0	0	0	1	4	5
石巻専修大	0	1	1	1	3	4
岩手医科大学	1	2	3	0	4	4
自治医科大学	0	0	0	0	1	1

(その3)

大学名 (学部)	9年3月			8年3月		
	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計
獨協大	1	0	1	1	3	4
青山学院大	2	9	11	1	6	7
学習院大	3	3	6	0	3	3
慶應義塾大	6	20	26	8	18	26
工学院大	0	2	2	1	4	5
国学院大	0	1	1	1	4	5
国際基督教大	0	1	1	0	0	0
駒沢大	0	0	0	1	1	2
芝浦工業大	1	5	6	3	3	6
上智大	0	2	2	0	3	3
成蹊大	2	2	4	1	1	2
成城大	0	5	5	2	1	3
専修大	0	4	4	2	1	3
中央大	5	19	24	2	19	21
東京理科大	9	22	31	3	30	33
東洋大	0	1	1	0	3	3
日本大	2	11	13	4	8	12
法政大	0	13	13	0	8	8
武蔵工業大	0	3	3	0	1	1
明治大	1	18	19	2	20	22
明治学院大	0	2	2	0	4	4
立教大	2	9	11	0	7	7
早稲田大	11	15	26	6	22	28
神奈川大	0	1	1	1	3	4
同志社大	2	4	6	3	8	11
立命館大	1	29	30	4	30	34
関西大	0	1	1	0	1	1
その他	7	32	39	5	26	31
私立大学合計	70	263	333	61	282	343
防衛医大	0	1	1	0	2	2
防衛大学校	3	3	6	0	4	4
その他	2	1	3	0	2	2

寄贈文書

今春の人事異動

△転任・退任の方々▽	鹿股 英生 教諭(理科)	栗原 誠一 教諭(数学)
	(退職)	(柴田高より)
下河辺行隆 教諭(数学)	山本 高義 教諭(国語)	下河辺行隆 教諭(数学)
板垣 德昭 教諭(国語)	伊藤 博之 教諭(地歴)	伊藤 博之 教諭(地歴)
(泉松陵高へ)	(歴史博物館建設準備班へ)	(宮二女高より)
山崎 英毅 教諭(英語)	芳賀 誠 教諭(高20・国語)	山下 秀範 教諭(国語)
(仙台一高へ)	(仙台山高へ)	(泉館山高より)
笠原 弘康 教諭(英語)	若生 敏由 教諭(英語)	菅原 勝志 教諭(英語)
(岩出山高へ)	(宮二女高より)	(仙一高より)
川村 清児 教諭(高29・保休)	石井 康宏 教諭(高31・保休)	山下 秀範 教諭(国語)
(仙台三高へ)	(仙台商業高より)	(仙三高より)
原田 育雄 教諭(国語)	和賀 久佳 教諭(高32・国語)	若生 敏由 教諭(英語)
(名取北高へ)	(黒川高より)	(宮二女高より)
相澤 貞子 養護教諭	岩渕 初美 代替養護教諭	熊谷 佳二 教諭(理科)
(研修センター長期研修へ)	(泉高より)	(泉館山高より)
守屋 祐八 事務室長	佐々木武夫 非常勤講師(国語)	栗原 誠一 教諭(数学)
(志津川教育事務所へ)	熊谷 千敬 事務副参事兼事務	(柴田高より)
原 富美恵 主査	(スポーツ振興課課長補佐)	栗原 誠一 教諭(数学)
山田 守 教頭(数学)	(仙台南高へ)	(白石高より)
△着任の方々▽	佐々木伸江 主事	栗原 誠一 教諭(数学)
（泉館山高より）		

事務局だより

◆今年から会報発行が年二回となりました。去る六月に「平成九年度総会案内号」として六頁構成で発行、より多くの会員の総会参加を呼びかけました(予算の関係で今年は仙台近辺のみの配付となりましたこと御容赦下さい)。

今回発行致しました第30号が今年二つ目の会報となりますが、内容的には「総会案内号」を吸收・拡充したものとなつております。

◆百周年も間近にせまり、各委員会等も活発な活動に入っています。

中でも名簿委員は、各回期ごとに住所・電話番号等を把握すべく、日夜努力を重ねていただいております。

つきましては、会員諸兄の皆様にお電話が行くこともあります。

どうかと存じますが、その際には快く御協力いただけます

がつかめない等で調査の進んでいない回期がありましたら、

お問い合わせ下さい。

◆「百周年記念誌」も動き始めています。つきましては先輩諸兄のお手元に校史(編纂の資料となります)「記録や写真・文章」などございましたら、同窓会事務局に暫くお貸し下さい。

また、19頁にもありますように応援歌の楽譜をお持ちの方もそのコピーをお送り下さい。

◆同窓会事務局直通電話新設この度、事務局に直通電話が設置されました。ファックスも受けられ、留守録音の機能もあります。

番号は次の通り。

○二二一二二一一五六五一

◆次の方々から学校・同窓会側に寄付を頂きました。

①中45回 石川英次郎様より
寄付金 四万円

②中47回 同窓生御一同様より
寄付金 四万円

銀木犀 一本

表の平塚良治さんを始め、中47回の皆さんがあれらが多数来校され、記念植樹が行なわれました。

③高6回 菅野 重篤様より
寄付金 二万円



編集後記

今回から年二回の発行といふことになり、先輩諸兄の御指導・御援助を頂いたおかげで、何とかこのような会報を

お届けすることができ、一安心しております。

うことになり、先輩諸兄の御指導・御援助を頂いたおかげで、何とかこのような会報を

お届けすることができ、一安心しております。

お見苦しい点、失礼の段、平

不慣れな者の編集作業故、

お見苦しい点、失礼の段、平

文責 森俊之(高31回)